

岩国小学校 働き方改革に係る取組

教職員の働き方改革については、令和5年8月に、以下のような文部科学大臣メッセージが出されています。

デジタル化の進展など急激に変化する時代の中で、今学校は、子供たちが主体的で創造力豊かに次代を生きる力を育てるため、教育の質の向上に取り組んでいます。教師が教師でなければできない業務に集中してこの課題を達成するため、学校・家庭・地域の連携分担や学校の働き方改革が必要です。

本校では、「山口県学校における働き方改革加速化プラン【第3期】」の4つの柱・12の取組に沿って、教職員の働き方改革に取り組んでいます。

■ 「山口県 学校における働き方改革加速化プラン【第3期】

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/178202.pdf>

◆ 時間外在校等時間（※）の状況

※ 時間外在校等時間：勤務時間外において、学校教育に関する業務を行っている時間のこと

【教職員一人当たりの1か月の平均時間外在校等時間】

年度	本校	県
令和4年度	39.7時間	38.4時間
令和5年度	40.9時間	—

【時間外在校等時間が月45時間を超えた教職員の割合】

年度	本校	県
令和4年度	42.2%	36.1%
令和5年度	40.3%	—

◆ 本校の主な取組

【柱1】 業務の見直し・適正化 <ul style="list-style-type: none">・ 出退勤時刻のデジタル管理・ 業務時間確保のための時程の弾力化・ 学校行事の精選と内容の見直し	【柱2】 校務の効率化 <ul style="list-style-type: none">・ 欠席連絡のデジタル化・ 学校評価等のアンケートのデジタル化・ メール配信による学校情報の提供・ 会議等のペーパーレス化
【柱3】 勤務体制等の改善 <ul style="list-style-type: none">・ 学校閉庁日の設定・ 長期休業中の時差出勤制度の導入・ 18時以降の電話メッセージ対応・ 会議時間の短縮と会議の精選・ 業務アシスタントやICT支援員の配置	【柱4】 学校・家庭・地域の連携・協働 <ul style="list-style-type: none">・ 地域ボランティアによる学習・生活支援・ 外部人材（ゲストティーチャー）の活用・ 保護者による校内環境整備へのボランティア支援

※ 児童の健全な育成と、教職員が健康で心豊かに教育活動に取り組むことができるよう、保護者や地域の皆様の御理解と御協力をお願いします。